様式１－２（医療法第113条第１項に規定する業務があることを証する書類）

|  |  |
| --- | --- |
| 医療機関名 |  |

1. 医療法第113条第１項の指定に係る業務の内容（該当するもの全てに○を記入）

※次に掲げるいずれかに医療を提供するために、雇用する医師にやむを得ず長時間従事させる必要がある業務について記載すること。

※長時間従事させる医師が複数おり、それらの医師が携わる医療が別々の場合は、複数選択すること。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 第１号　救急医療 |
|  | 第２号　居宅等における医療 |
|  | 第３号　地域において当該病院又は診療所以外で提供することが困難な医療 |

２．業務内容の詳細

1. 業務の内容が「第１号　救急医療」の場合

　救急医療機関の指定

|  |  |
| --- | --- |
| 三次救急医療機関 |  |
| 二次救急医療機関 |  |

　　※該当するもの全てに〇を記入。二次救急医療機関に該当する場合は下記を記入。

　　※前年度の病床機能報告の実績を基本とする。

　　※例年に比べ大幅な増減がある等、申告すべき事項がある場合は備考欄に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 年間救急車受入台数 | 　　　　　　　　　　　　　　件 |
| 年間での夜間・休日・時間外入院件数 | 　　　　　　　　　　　　　　件 |
| 備考 |  |

1. 業務の内容が「第２号　居宅等における医療」の場合

|  |
| --- |
| （県保健医療計画等において位置付けられた「居宅等における医療」の提供に係る業務であることを記載。） |

1. 業務の内容が「第３号　地域において当該病院又は診療所以外で提供することが困難な医療」の場合
2. 県保健医療計画において位置付けられている５疾病６事業の役割（該当するものに☑又は■を記入すること。複数に該当する場合は全て記入すること。）

□　がん　　　□　脳卒中 （脳血管疾患）　□心筋梗塞等の心血管疾患

□　糖尿病　　□　精神疾患　　□　救急医療　□　災害時における医療

□　新興感染症発生・まん延時における医療等　□　へき地における医療

□　周産期医療　□　小児医療（小児救急医療を含む）

1. ①の役割について、国や県から指定を受けている医療機能や具体的な業務内容を記載してください。

|  |
| --- |
| 例）・総合周産期母子医療センター・地域周産期母子医療センター・県がん診療連携拠点病院 |

1. 当該業務により医師をやむを得ず長時間従事させることが必要な理由（詳細に記載すること）

|  |
| --- |
| （当該業務による症例件数等の実績件数を含め、具体的な内容を記載すること。）例）当院は二次救急医療機関であるが、夜間には１日当たり○台の救急車を受け入れており、全時間帯での宿直許可の取得は難しい。○時から○時までに限定して宿直許可を取得したが、現体制では夜間宿直を○人の医師で対応しており、１処置につき○分の対応が必要であるため、医師１人当たり年間○時間の時間外労働が必要となっている。圏域内には他に二次救急病院がなく～であるため、～のために当院で救急医療を～することにより、必要な医療提供体制を確保する必要がある。 |